

みんななかまさ!

〈 きれいはいのプログラム 〉

しかい : かなざわ けいこ

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 2、みんなで歌うた | ♪「世界中のこどもたちが」P. 28 |
| 3、みんなでいのる | 主のいのり P. 92 |
| 4、みんなで読むせいしょ | ルカによる福音書第8章4-15節 |
| 5、みんなで歌うた | ♪「にじ」P. 38 |
| 6、みんなで聞くおはなし | 「ひとびと」すがさわ くにあき |
| 7、みんなで歌うさんびか | 讃美歌 213番 ♪「みどりのまきばに」P. 72 |
| 8、けんきん | ♪「いまそなえる」P. 92 |
| 9、しずかなころ | |

〈今日の活動〉 なわとび大会

〈 ほうこく 〉

1日(日)は、「うれしい」でした。絵本「あかりの花」(採話: 肖 甘牛、再話: 君島 久子、画: 赤羽 末吉/福音館書店、1985年)を読んでもうございました。どこか聞き覚えのある「つるによぼう」にも、似たお話でした。さすが赤羽末吉さんの画の迫力は、すごい。トーリンが怠けものになって、お嫁さんが家を出ていく場面は、表紙にもなっていますが、金鶏鳥に乗って行ってしまふそんな場面は、とてもダイナミックで、色使いもとっても鮮やかで美しい絵本でした。



活動は、みんなの人気のドッチビーで、遊びました。小さな1年生の子どもたちから、高校1年生まで一緒になって、およそ10人対10人のドッチビー大会。投げるのは柔らかい布製のディスクですが、当たると結構いたい。それでもみんな本気で、笑い声と歓声があふれる、とっても楽しい時間でした。そして、やっぱり高校生たちのパワーはすごい!

おやつは、前日の餅つきのおとなので、もちろん「お雑煮」。それも、富山のお雑煮です。にんじん、ごぼう、昆布に鶏肉というシンプルな材料に、味付けは醤油。お餅も入って、寒い体にじんわりしみる、温かくてとっても美味しいお雑煮でした。

〈 こどもといのる 〉

2026年1月4日のかかるた大会から始まり、凧づくり、そして昨日は、今年初めての「もちつき」でした。みんなで声を掛けあひながらの餅つき。つきたてのお餅を「きなこ、大根おろし、ごまだれ・」等々につけて食べる。「最高のご馳走」です。美味しかったね。寒さに負けず、元気で楽しく遊びましょう。

(もりや ひろこ)

〈 おしらせ 〉

◇14日(土)9時～、武庫川河川敷にて、「たこあげ」です。共同鍋も用意します。お椀と箸も、忘れずに持ってきてください。トレイがあると便利です。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、44696枚から 5枚 集まりました。合計 44701枚 になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年2月1日(日)





四 さて、大ぜいの群衆が集まり、その上、町々からの人たちがイエスのところに、ぞくぞくと押し寄せてきたので、一つの譬で話をされた、五「種まきが種をまきに出て行った。まいているうちに、ある種は道ばたに落ち、踏みつけられ、そして空の鳥に食べられてしまった。六ほかの種は岩の上に落ち、はえはしたが水気がないので枯れてしまった。七ほかの種は、いばらの間に落ちたので、いばらも一緒に茂ってきて、それをふさいでしまった。八ところが、ほかの種は良い地に落ちたので、はえ育って百倍もの実を結んだ。こう語られたのち、声をあげて「聞く耳のある者は聞くがよい」と言われた。

九 弟子たちは、この譬はどのような意味でしょうか、とイエスに質問した。一〇そこで言われた、「あなたがたには、神の国の奥義を知ることが許されているが、ほかの人たちには、見ても見えず、聞いても悟られないために、譬で話すのである。一一この譬はこういう意味である。種は神の言である。一二道ばたに落ちたのは、聞いたのち、信じることも救われることもないように、悪魔によってその心から御言が奪い取られる人たちのことである。一三岩の上に落ちたのは、御言を聞いた時には喜んで受け入れるが、根が無いので、しばらくは信じていても、試練の時が来ると、信仰を捨てる人たちのことである。一四いばらの中に落ちたのは、聞いてから日を過ごすうちに、生活の心づかいや富や快樂にふさがれて、実の熟するまでにならない人たちのことである。一五良い地に落ちたのは、御言を聞いたのち、これを正しい良い心でしっかりと守り、耐え忍んで実を結ぶに至る人たちのことである。